

化学と教育

第66巻 第6号 2018年 目次

ヘッドライン 大学で活動する科学サークル

近年、大学のサークル活動に科学コミュニケーションを目的としたサークルがたくさんできている。こうしたサークルの存在を教育の現場にもアピールできるように、それぞれのサークルにおける学生の特色ある活動を紹介いただく。

学生によるサイエンスコミュニケーション活動	徳永 康平	268
東京大学 CAST の科学イベント		
科学の面白さを多くの人に伝えるために	渡邊 緩也	270
子供たちと楽しむ科学	速水 嵐	272
首都大学東京 TMU-SFC の提供する子供たちが化学とふれあう機会		
	鈴木 充	274
chibi lab. のサイエンスコミュニケーション活動	新谷 溪太	276
東海大学チャレンジセンター		
サイエンスコミュニケーターの活動	追田 玲奈, 松永 峻彦	278
愛知教育大学における科学教育推進の取り組み		
—訪問科学実験サークル わくわく—	鶴田 泰士, 岩山 勉	280
新潟から子どもたちに科学の楽しさを!	長岡 涼太	282

◆ 化学教育 徒然草		
化学体得の勧め 川合 真紀		265
◆ レーダー		
熱容量測定によるメソポーラスシリカ中の低温液体の分子配置構造の調査	名越 篤史	284
溶媒抽出の新技术: エマルションフロー法 岡村 浩之		286
◆ 実験の広場		
5分間デモ実験		
硫酸と硝酸の性質 久保田 港		288
科学賞の受賞をたたえて		
神奈川県立弥栄高等学校サイエンス部 パン酵母を用いたバイオ燃料電池の製作	米山 洋平	290

表紙の言葉 福岡工業大学：A棟

福岡工業大学は1963年に福岡電波学園電子工業大学として開設されました。A棟にある生命環境科学科は2017年4月より生命環境化学科に名称を変更し、材料工学、物質工学分野等において、環境の時代における様々な課題解決に貢献できる人材を育成しています。A棟には最先端の試験・実践のスポットを有しているのはもちろんのこと、環境配慮の先駆的取組として、半導体デバイス製作実験センター、太陽光・地熱・雨水などの自然エネルギー利用設備を整備し、屋上庭園、採光デザイン、高効率照明設備などを積極的に導入しています。

◆ 講座：先生のための『発展』	
高校でよく行う電池の実験 —実験上の工夫と注意点など— 田口 誠一	292
モバイル機器を支える電池 —これからも世界を変えるリチウムイオン電池— 吉野 彰	296
◆ シリーズ：ものづくりと学問 —製造業と化学工学—	
蒸留のしくみ 橋谷 元由	300
◆ 論文	
天然放射性核種を用いた放射化学実験法 (XI) —ゼオライトによる放射能泉からの放射性核種の分離 大西 和子, 國仙 久雄, 鎌田 正裕	302
◆ Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより	306
<hr/>	
◆ Color Gallery	
ヘッドライン 東京大学 CAST の科学イベント 渡邊 緩也	口絵 21
リーダー 溶媒抽出の新技术：エマルジョンフロー法 岡村 浩之	口絵 22
実験の広場 硫酸と硝酸の性質 久保田 港	口絵 23
講座 高校でよく行う電池の実験 田口 誠一	口絵 24
会告	
△ 日本化学会から	
平成30年度各賞候補者の募集	308
■ 行事一覧	310
■ 編集後記	316

次号ヘッドライン

第25回化学教育フォーラム 中等教育で身につけたい化学(科学)リテラシー

中等教育で身につけたい化学(科学)リテラシー 守橋健二
 化学リテラシーの構築 —中等教育における化学の基本概念と内容— 今井 泉
 中学校での実践例 高田太樹
 物質にふれて学ぶ —実験を通して深める物質の学習— 山本孝二
 楽に実験ができる環境にしよう —効率的な実験室の整備方法について— 吉田 工